

## 全国どこでもご自宅へ

## くめじまるしえ

集落支援員の池原久美子さんと上江洲幹子さんは、島外へ島の野菜・果物や特産品を販売するインターネットショップ「くめじまるしえ」を開設しました。新型コロナウイルスの影響で島の野菜が出荷出来ずに困っているという声を聞いたことがきっかけです。島内の生産者さんから採れたてを集めて、季節の野菜や果物、特産品をセットにして販売し、全国どこでも久米島の味をご自宅で味わえるようになりました。上江洲さんは、「せっかく出来た久米島ファンの皆様との繋がりを大切にしたい」と話し、今後もネットショップを続けていく予定です。離れて過ごす家族や大切な人に久米島の美味しいを届けてはいかががでしょうか。



## 安心・安全なまちづくり

## 青色自主防犯パトロール

安心・安全なまちづくりへの地域参加として申請した、青少年「青色自主防犯パトロール」の活動許可を一般社団法人福志士会が那覇警察より受け、6月15日に運行許可証交付式が教育委員会で行われました。福志士会の吉永代表は「久米島全体で子どもたちを温かく見守って育てていき、地域ぐるみで声かけを行っていききたい」と話しました。使用する防犯灯は沖縄ファミリーマート久米島店からの協賛で、一緒に声かけをしたいと活動に賛同しています。防犯パトロールは夏休み前にスタートする予定です、子ども達の安全の確保に期待ができます。

## 今年度もスタート！

## ジョブシャドウイング



町内小学6年生を対象に、就業意識向上のための職業観察（ジョブシャドウイング）が今年度もスタートしました。仲里小6年生25名の児童は、事前学習として、「働くとはなにか」を考え、プロジェクト推進課大田課長による職業人講話を聴講しました。町内の取り組みや島外や県外での経験を聴き、仕事のやりがいや人と出会うことで自分自身が成長できるなど、将来を考えるきっかけとなりました。参加した児童は「さまざまなことにチャレンジしてみたい」などと感想を述べました。



## 久米島紬500年の伝統を永遠に

## 久米島紬後継者育成事業 入所式

町では、久米島紬の技術や文化の継承を目的に、後継者育成事業を行っています。今年度は5人の受講生を迎え、6月8日に入所式が行われました。桃原副町長は、「久米島紬協同組合は50周年という節目を迎えました。これからの長い歴史を刻めるように、皆さんはこの1年で技術を身に付け、後継者として頑張ってもらいたい」と激励しました。受講生は1年間で2～4反を織り上げることで、終了証が授与されます。受講者の作品は産業まつりに出品予定です。